

組織培養研究投稿規定 (2018 年 8 月改訂)

1. 投稿論文は原則として、組織培養領域に関する未発表の英文または和文の原著 (regular articles)、短報 (rapid communications)、総説 (review articles) または各種情報 (information) とする。
2. 原稿は全てデジタルデータとする。本文は、MS-WORD を使用し、英文はダブルスペースとする。図は、高画質原画を jpg 圧縮して別ファイルとする。本文スタイルについては既刊誌を参考にする。本文及び図、並びに、著作権委譲書 1 部 (組織培養研究に掲載してある様式使用のこ) を編集事務局へ提出する (電子送信する)。投稿論文が受理されなかった場合は、著作権委譲書は著者に返却される。
3. 投稿論文は編集委員会または編集委員会で依頼した査読員が査読し、査読結果を投稿者に通知する。査読結果に基づき改訂版を提出する場合は、査読結果を受領してから原則 2 か月以内とし、特段の事情がある場合には、3 か月まで延長を認める。掲載が決定したものについて決定順に掲載する。掲載は J-STAGE によるオンライン掲載のみである。
4. 原稿の第 1 頁には表題、著者名、所属機関およびその所在地を英文および和文で併記する。複数の著者による論文の場合には投稿論文に関する問い合わせの出来る著者を連絡者に選び、その電話番号とファックス番号および電子メールアドレスを明記する。和文論文についての表題は、原則として 40 語句以内とし、論文の内容を的確に表したものとする。
5. 原稿の 2 頁には、表題および氏名を明記したうえで、要約 (abstract)、略表題 (running title) およびキーワード (key words) を記す。英文論文の要約は 200 words 以内とする。和文論文の要約は 400 語句以内とし、さらにその英訳をつける。略表題は 8 語句以内とする。キーワードは 5 個以内を選ぶ。
6. 原著論文の場合には原則として、3 頁以降に、序文 (Introduction)、材料と方法 (Materials and Methods)、結果 (Results)、考察 (Discussion)、文献 (References) の順で配置する。原著論文以外は 3 頁以降の形式は問わない。
7. 外国の地名、人名等は原語または英語で表し、固有名詞についても最初の文字以外は小文字とする。専門術語は、原則としてそれぞれの専門分野の用語集に従うものとする。動植物の学名などで、イタリック体で印刷されるべきものには下線をつける。
8. 数字は算用数字とし、単位は SI 単位を用いる。論文中で略字を使う場合には論文中に初めて使用するときに略する字句に続いて、その略語を括弧でくくって示すこととするが、最小限にとどめる。
9. 引用文献は論文中に引用した順にまとめて番号をつけて表示する。本文中では該当する位置に肩付き 1) で表示し引用する。文献の記載は以下のようにする。
 1. Hart, R.W. and Setlow, R.B.: Correlation between deoxyribonucleic acid excision repair and lifespan in a number of mammalian species. Proc. Natl. Acad. Sci. USA., 71, 2169-2173, 1984.
 2. Hayflick, L.: The cellular basis for biological aging. Finch, C.E. and Schneider F.L. (Eds.) In Handbook of the Biology of Aging, Van Nostrand Reinhold, New York, NY, pp. 159-186, 1977.
 3. 山田正篤、仙波まり: Aids における抗 HIV ウイルス治療の戦術、トキシコロジーフォーラム、11、508-523、1988.
10. 著者校正は原則として初校のみとし、その際の追加変更はできない。
11. 投稿論文の著作権は、日本組織培養学会に帰属する。
12. 原稿の送付および投稿に関する問い合わせ先は下記の編集事務局とする。

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 53
京都大学 iPS 細胞研究所 基盤技術研究部門
「組織培養研究」編集事務局 (編集委員会委員長: 浅香 勲)
電子メールアドレス: asaka@cira.kyoto-u.ac.jp